

令和8年度8月集会 校長講話

令和8年8月31日

約40日間の夏季休業を終え、本日から、本校の教育活動が再開します。
その「節目の日」を迎えるにあたって、まずは、夏休みが始まる前にみなさん
にお話ししたことを、おさらいしたいと思います。

私はみなさんに、

「経験を積み、経験を次につなげる夏に」

という内容のお話をしました。

1日の経験を、1つのレンガに見立てて考えたとき、重ねずに、そのまま地面
に置いたままなら、すべてのレンガの高さは1つ分の高さしかないけれども、
そのレンガを上積み重ねることで、より高いところから、より遠くを見るこ
とができる。

そうお話ししました。

言い換えると、

経験したことを振り返り、それらから何を感じとり、
何を学び取ったのか、また、それらを何に役立てること
ができるのか、そうした整理をすることで、経験が
次の経験につながり、自分自身の成長につながる。
お伝えしたかったのは、そういうことです。

いかがでしょうか。

みなさんの「レンガ」は積み重なったでしょうか。

夏休みの40日間を振り返ってみてください。



生成AI (Copilot) による作成

部活動に一所懸命に取り組んだ人、家族との時間を大切にしたり、普段で
きないことに挑戦したり、勉強に励んだ人、友達との関わりの中で何かを感じたり
考えたりした人。

うまくいったことばかりではなくて、思うようにできなかったり、失敗し
たり、悔しかったりしたことも、あったと思います。

しかしそうしたことも、すべて大切な「経験」です。大切なのは、その経験を
「経験しただけ」で終わらせないことです。

「なぜ、うまくいかなかったのだろう」

「自分は何を学んだのだろう」

「次はどうしたよいか」

そうやって考えることで、経験が積み重なり、次の行動につながっていきます。

そして、そうした「経験の積み上げ」に加えて、みなさんの「さらなる成長を促すもの」についてお伝えしたいと思います。

それは何か。



生成AI (Copilot) による作成

それは「読書」です。

これから秋に向かい、読書にはちょうどよい季節となっていくしますので、ぜひ、この秋には、本を読んでほしいと思います。

では、なぜ読書が、みなさんの成長につながるのか。

それは、自分では一生かかっても経験することのできない「他者の経験」に触れることができるからです。

自分が生きていない時代を生きた人、
自分が行ったことのない場所で生きた人、
自分とはまったく異なる考え方を持つ人、
そうした人たちの経験に触れることができるのが「読書」です。

そして、

「そんな考え方もあるのか」

「自分だったら、どう考えるだろう」

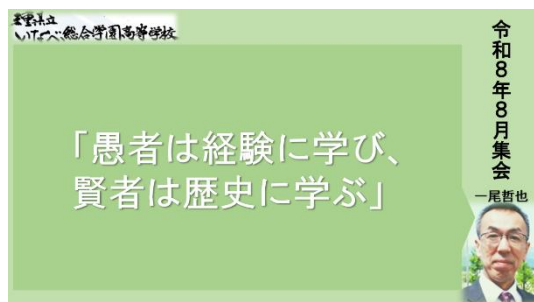
「この人物は、なぜそのような行動をしたのだろう」

本を読みながら、そうやって考えることで、自分の経験だけでは届かないところまで自分の視野を広げることができる…そう私は思います。

ここで、一つの言葉を紹介します。

「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」

自分自身の経験から学ぶことは、もちろんとても大切です。しかし、自分が実際に経験することだけを待っていたのでは、一人の人生の中で学べることには限界があります。



だからこそ、先人たちが経験したこと、その経験から得た知恵を学ぶことが大切になります。

つまり、読書の価値とは、単に知識を増やすためのものではなく、自分一人では経験できないことを、他者の経験を通して学び、自分自身のこれからの経験に生かしていくことができることにある、と私は思っています。

関連して、もう一つ紹介したい言葉があります。

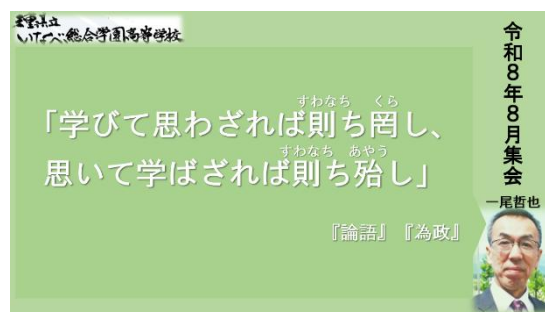
「^{すなわ}く^{くら}ら 学ばずば 則ち 罔し、^{すなわ}あ^{あやう}う 学ばずば 則ち 殆し」

これは、中国の孔子の言葉で、
前半は、

「知識や教えを受けるだけで、自分の頭でよく考えなければ、物事の本質はつかめない。」

後半は、

「自分で考えるだけで、新しい知識を学ぼうとしなければ、独善的になり危険である」という意味です。



読書についても同じことが言えると思います。本を読んで、「なるほど」と思うだけではなく、

「自分ならどう考えるのか」

「自分の経験と、どこが同じで、どこが違うのか」

「この考え方を、自分のこれからの生活にどう生かせるだろうか」

そういう風に、自分の頭で考えてみることで、本から得た知識が、単なる知識ではなく、自分自身の学びになっていくのだと思います。

夏休み前にお話した「レンガ」に戻って考えてみましょう。

自分自身の経験が一つのレンガです。

そして、読書を通して得た「他者の経験や先人の知恵」もまた、新しい一つのレンガになる、と思います。自分の経験だけでレンガを積むのではなく、本から得た学びも加えて、さらに高く積み上げていく。そうすれば、これまでよりも、もっと遠くを見ることができるようになるはずです。

ですから、あらためてみなさんに、「経験を積み重ねること」に加えて、「読書すること」を、これからの学校生活の中で意識してほしいと思います。

まずは、自分が興味を持った一冊を手にとってみて、そして、その本の中で、

「これは面白い」

「これは自分とは違う考え方だ」

「これは自分のこれからに役立つかもしれない」

そう思えるものを、一つでも見つけてみてください。

その一つが、みなさんの新しい「レンガ」になるかもしれません。

今日から始まる新しい学校生活。これまでの経験を振り返り、そこから学び、さらに本を通して、まだ自分が経験していないことを学ぶ。そうした積み重ねによって、一人ひとりの「レンガ」が、少しずつ、そして確実に高く積み上がっていくことを期待しています。